

交通規制 駐車場 会場

ご案内

10月26日(日) お城まつり駐車場

駐車場一覧	駐車可能台数
① 汐入物揚場	15台
② 汐入駐車場	25台
③ 西庄丸砂利野積場 (出演者及び関係者限定)	20台
④ 富岡城三の丸 (九大臨海実験所学生宿舎)	25台
⑤ 富岡小学校グラウンド	100台
⑥ 木山陶石採石荷揚げ場 ♿	35台
⑦ 富岡港駐車場	30台
⑧ 富岡東海岸 松林前	100台
⑨ 富岡海水浴場駐車場	30台
⑩ 寿覚院駐車場	20台
駐車可能台数 計400台	

当日シャトルバス運行

⑤ 富岡小学校 → ⑩ 寿覚院
ペーロン船格納庫 ←

10月26日(日)
7:30~17:00
お城まつり会場
車両通行止区間



富岡城

かつて茶北町は、数百年にわたり天草の中心地として栄えました。1205年からおよそ400年もの間、志岐氏が統治する時代が続き、戦国時代末期には志岐麟泉が領主となって全盛期を迎えます。

その後、徳川時代には唐津藩によって支配され、肥前唐津藩の寺沢志摩守広高によって慶長7年(1602年)頃に富岡城が築かれました。寛永14年(1637年)「島原・天草一揆」で、富岡城は幕府側の拠点として一揆勢から攻撃を受けました。必死の守りで落城を免れたことが、一揆の早期終結と後の徳川幕府の安定をもたらしたといわれています。

一揆後、山崎甲斐守家治の領地となり、築城の名手と謳われた山崎氏は大規模な修築および拡張を行い、現在みられる富岡城の形が完成しました。山崎氏の後に天草は天領となり、初代代官・鈴木重成の時代を迎えます。後に再び私領となり戸田忠昌が城主となるものの、戸田氏の領地替えの際に富岡城は破城。再び天領となって天草の行政の中心となりました。

現在、富岡城の本丸跡に「熊本県富岡ビジターセンター」を開設。さらに櫓・高麗門・白堀等が復元され、当時の面影を偲ぶことができます。平成26年には新たに長屋・東西角櫓を復元し、平成27年7月、長屋跡に「茶北町歴史資料館」がオープンしました。

また、富岡城から眼下に見下ろす眺望は、まさに絶景と言われています。



※交通規制にて大変ご迷惑をおかけ致しますが
交通指導員の指示に従いご協力をお願い致します。